

一般社団法人日本歯科麻酔学会  
最優秀発表賞（デンツプライシロナ賞）審査結果について

令和3年10月9日に実施された選考の結果、下記の4つの演題が令和3年度の最優秀発表賞（デンツプライシロナ賞）として選出されました。

【基礎研究】

『メラトニンMT2受容体を介した気管平滑筋収縮機構』

○佐々木 晴香、水田 健太郎

（東北大学大学院歯学研究科 病態マネジメント歯学講座 歯科口腔麻酔学分野）

『三叉神経痛に対する三叉神経節内マクロファージの関与』

○浅野 早哉香、岡田 明子

（東京都立多摩総合医療センター 麻酔科／日本大学大学院歯学研究科生理学講座）

【臨床研究】

『超高感度スマート圧電振動センサ（AYA-P）で得られる上気道閉塞呼吸パターンのAI解析』

○安藤 慎之介、高木 沙央理、河野 亮子、原田 達也、高橋 敏克、大野 由夏、前田 祐佳、讃岐 純平、弘中 哲夫、石黒 隆、小長谷 光

（明海大学歯学部 病態診断治療学講座 歯科麻酔学分野）

『Offset analgesia と pain catastrophizing scale は口腔外科術後痛の罹患期間を予測する』

○河野 亮子、大野 由夏、安藤 慎之介、高木 沙央理、長谷川 彰彦、長坂 浩、小長谷 光

（明海大学歯学部 病態診断治療学講座 歯科麻酔学分野）